

第1回 容量市場の在り方等に関する勉強会 議事要旨

1. 開催状況

日時：平成29年3月30日（木） 13:00～14:30

場所：電力広域的運営推進機関 豊洲事務所 会議室A・会議室B・会議室C

出席者：

安念 潤司 座長（中央大学法科大学院 教授）

市村 拓斗 委員（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

大山 力 委員（横浜国立大学大学院 工学研究院 教授）

岡本 浩 委員（東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役 経営技術戦略研究所長）

沖野 仁史 委員代理（伊藤忠エネクス株式会社 電力・ガス事業グループ 電力・ユーティリティ部門 電力需給部 電力需給支援課長）

菅野 等 委員（電源開発株式会社 執行役員 経営企画部長）

小宮山 涼一 委員（東京大学大学院工学研究科附属レジリエンス工学研究センター 准教授）

坂本 邦夫 委員（東北電力株式会社 電力ネットワーク本部 電力システム部 技術担当部長）

佐藤 裕史 委員（東京ガス株式会社 電力事業計画部長）

津田 雅彦 委員（関西電力株式会社 総合エネルギー企画室 需給企画担当室長）

鮫島 隆太郎 委員代理（株式会社F-Power 常務執行役 CRO）

松村 敏弘 委員（東京大学 社会科学研究所 教授）

新川 達也 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 総務課長）

欠席者：

秋池 玲子 委員（ポストンコンサルティンググループ シニア・パートナー & マネージング・ディレクター）

秋元 圭吾 委員（公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員）

秋山 一也 委員（株式会社エネット 経営企画部長）

沖 隆 委員（株式会社F-Power 副社長）

林 泰弘 委員（早稲田大学大学院先進理工学研究科 教授）

松塚 啓一 委員（伊藤忠エネクス株式会社 執行役員 電力・ガス事業グループ 電力・ユーティリティ部門長）

圓尾 雅則 委員（S M B C 日興証券株式会社 マネージング・ディレクター）

佐合 達矢 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 取引監視課長）

恒藤 晃 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 ネットワーク事業監視課長）

議題：

（1）開会

（2）委員紹介

（3）勉強会の設立について

（4）容量市場について

（5）閉会

資料：

（資料1）議事次第

（資料2）容量市場の在り方等に関する勉強会委員名簿

（資料3）容量市場の在り方等に関する勉強会の設立について

（資料4）容量市場について

2. 議事概要

- 事務局より、資料 2 および資料 3 に沿って、勉強会の設立と資料および議事要旨の公表について説明が行われた。
- 事務局より、資料4に沿って、勉強会設立の経緯と、今後、議論する内容について説明が行われた。
- 出席者の全員からさまざまな意見が出された。その概要は以下の通りであった。
 - ・ 事務局が示した論点には、制度の最終的な姿と経過措置の区別という重要な論点が抜けているのではないか。
 - ・ 新規の電源投資にファイナンスがつくような制度となるよう議論していくべきではないか。
 - ・ 事務局の説明では今後、kW 価値、ΔkW 価値、kWh 価値が明確に切り分けられるとしているが、それらの価値はすべて供給力と調整力に関係する。kW 価値の対価を得る事業者においては、容量市場導入の目的を踏まえ、実際に供給力、調整力として活用できるような電源等を準備いただくよう、リクワイアメントやペナルティ等の設計が必要と考える。
 - ・ kW 価値、ΔkW 価値、kWh 価値のそれぞれの販売により、2重・3重の対価を受け取ることの無いように他の市場（ベースロード電源市場や需給調整市場等）との関係性の議論も重要と考える。
 - ・ 欧米、特に PJM、英国、フランスなど、容量市場を先行的に取り入れている国の情報を提供いただければ、より本勉強会の議論が深まるのではないか。

以上